

平成22年度 事業報告書

平成 22 年度 社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会事業報告

(総 括)

本年度末、平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分に発生した未曾有の大震災により東日本、とりわけ東北・宮城県においても想像を絶する甚大な被害を受けました。

改めて、この震災によりお亡くなりになられた方々に衷心より哀悼の意を表しご冥福を申し上げますとともに、被災された方々、ご家族の皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

そして、人的協力、物資提供、義援金のご厚意、ボランティア活動協力など、多大なるご尽力、ご支援、ご協力を賜りました関係各位に対し、深甚なる感謝を申し上げる次第であります。

本会においても、同日の午後 2 時 50 分に災害対策本部を設置し、直ちに本会が運営する事業所の被害状況調査にあたりました。幸いにも利用者・職員等の人的被害はなく、デイサービス等の通所型サービス利用者についてはご家族による送迎や公用車にて、ご自宅に無事にお帰りいただき、居宅介護支援、訪問介護等の訪問型サービス利用者については各担当者が各々ご自宅を訪問し安否確認を行いました。敬風園、楽々楽館、和楽路等の入所施設型サービス利用者については施設毎に安全確認を行ったところであります。物的損害については、施設設備(主に給湯・空調)、外構、備品等様々な損傷・損壊があったことと併せ、ライフラインが寸断されたことや電話などの通信不能による情報不足、施設設備・車輛等に係る燃料不足により、介護事業等の一時休止を決定いたしました。その後、利用者のご要望にいち早く応えるべく、ライフラインの復旧や利用者の受入れ体制の安全確保ができた段階の 3 月 25 日より順次、事業を再開して参りました。

同時に、甚大な被害をこうむった宮城県沿岸部の要介護者の受入れについても検討し、要介護者 40 名、高齢者 50 名の計 90 名の受入れを確認、宮城県に報告し、3 月 19 日に東松島市から 20 名の要介護者を敬風園にて受入れを行い、現在も支援継続中であります。また、大崎市、行政当局との連携のもと、南三陸町の避難者の方々に対する協力支援も行っているところでもあります。

災害ボランティアセンターについては、3 月 12 日に設置し、ボランティア受付を 3 月 14 日から開始、3 月末までの間に延べ 2000 名を越えるボランティアの協力支援をいただきました。そしてまた、石巻市社協の災害ボランティアセンター運営協力支援のため、職員の派遣を行い、現在も支援継続中であります。

さらに、被災をされました世帯に対する生活費(緊急小口資金)貸付の受付窓口を3月31日に設置し、数多くの方々からの申込み受付を行いました。

今回の震災対応について、物的被害は大小なりともあったものの、人的被害はなかったという、これまでの防災訓練の成果とともに、本会職員全員が昼夜を分かたず、支援に努めてきたお蔭であると思っております。しかし、防災訓練等を実施してきたにも関わらず、今回の震災は想定をはるかに超えるものとなり、今後の対応への課題を残す結果となりました。再度、この事を契機に役職員一同で協議検討を図って参ります。

こうした震災対応も含め、本年度は「地域福祉活動計画」における「地域の絆と支え合い」を念頭に「ひとびとの心ふれあう地域づくり」のための実践活動に取り組み、特に安否確認活動事業においてはモデル地域を指定し、充実強化を図って参りました。

さらには本計画を基本に、これまでの地域で築きあげた実績を基盤としてそれぞれの地域特性を踏まえながら地域住民の協働によるサービス提供体制づくりと併せ、介護保険制度、障害者自立支援法等の公的施策やサービスの提供、住民主体の福祉活動やボランティア活動の推進を図りつつ、地域住民・各種関係機関等のご支援・ご協力により、積極的な事業展開と地域福祉の向上を図ってきたところであります。

また、本会の基本方針である広く地域の隅々まできめ細やかな福祉サービスを均一に提供できる体制づくりや経営基盤の安定化を目的とした多角的事業展開の一環として、新規事業となる特別養護老人ホーム「楽々楽館」建設、従来事業の安定的な経営戦略を視野に入れた事業展開を目指して、各地域における新規事業の開設、事業統合、事業見直しの検討を図って参りました。

一日も早い被災地の復旧・復興、そして地域住民、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して、今後も引き続き、役職員一丸となって取り組んで参りますので、地域の皆様・各種関係機関等のさらなるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、報告といたします。

尚、具体的な事務事業の概要については、次頁以降に記載しております。

平成22年度 社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会

事業報告書

1. 法人運営事業

本会の事業実施状況・経営状況を的確に把握し、将来における事業展開を念頭に置いた各種事業の充実を図るとともに、円滑なる運営並びに効率のよい事業執行、法人経営ができるよう下記の法人運営事業を推進した。

(1) 理事会 …年間9回開催

(2) 評議員会 …年間3回開催

(3) 監事会 …年間6回開催

(4) 広報発行事業

〔本所〕「大崎市社協だより」の発行 …年間3回 15万9千部(発行全戸配布)
(発行月 8月・11月・2月)

〔各支所〕「支所だより」の発行 …年間28回 10万1千部

〔敬風園〕「敬風園だより」の発行 …年間4回

*利用者及び家族・ボランティア・関係機関等へ配布

(5) ホームページ運営事業〔本所・支所〕

…延べアクセス件数 126,022件

2. 地域福祉活動事業

住民のみなさまが住みなれた地域で安心して生活できるよう地域福祉事業の体制整備を進めながら、住民参加によるきめ細やかな地域福祉活動を展開し、各地域にあった活動を推進できるよう努めた。

(1) 地域福祉推進委員会の開催〔各支所〕 …年間14回開催

各支所に地域福祉推進委員会を設置し、各地域での福祉的課題や問題解決、支所事業の支援体制などに取り組まれた。

(2) 社会福祉協力員活動推進事業〔松山・三本木・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕

…年間8回開催

地域と社会福祉協議会のパイプ役として、社会福祉協力員を設置して、地域福祉活動の推進と一般会員会費納入の促進に努めた。

(3) 支部社協・地区社協支援事業〔古川・岩出山・田尻〕 …年間30回実施

支部社協・地区社協(小地域)活動に関して、自主的な事業活動を展開する組織を育成すると共に、地域の方々が共に支え合う地域福祉の推進を図ることを目的とし支援に努めた。

- (4) いきいきふれあいサロン事業〔岩出山〕...年間95回 延べ1,707人参加
地域を拠点として、高齢者、地域住民、ボランティアが自主的に企画や内容などを話し合い、サロン活動を進めており、仲間づくりや活動支援などに努めた。
- (5) 地域福祉推進団体活動支援事業〔古川・松山・鳴子・田尻〕...15団体に支援
民生委員児童委員協議会、食生活改善推進委員会、遺族会等への団体助成。
- (6) 福祉大会・表彰事業〔本所・古川〕 ...年間1回開催 1,000人参加
11月に大崎市社協表彰式・シルバーフェスティバルを開催し、福祉活動に功績のあった方々に対し、感謝状、表彰状を贈呈し、福祉活動の啓蒙を図った。
- (7) 子育て支援事業〔岩出山・鳴子〕 ...年間4回開催 103人参加
子育て中の親子を対象に、子育てにおける不安や悩みなどの相談や仲間づくりなど、地域との繋がりを図りながら推進に努めた。

3. 社会福祉調査事業

大崎市民の福祉ニーズや支援及び援護を必要とする世帯等を社会福祉調査にて把握し、大崎市社協の地域福祉事業に反映できるよう努めた。

- (1) 社会福祉調査事業〔各支所〕 ...年間各支所延べ10回開催
ひとり暮らし高齢者、障害者、要援護世帯等の福祉調査を実施した。

4. ボランティア・福祉人材養成事業

福祉ボランティアのまちづくりを目指し、あらゆる機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民ニーズを積極的に開拓するとともに、いつでも・どこでも・誰でも気軽にできるボランティア活動の推進に努めた。また、地域における福祉コミュニティの形成を図ることを目的に、ボランティア活動推進事業を実施した。

1) ボランティアセンター事業

(1) 大崎市災害ボランティアセンターの設置

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、大崎市内も甚大な被害を受けました。大崎市社協では、翌日12日に大崎市災害ボランティアセンターを設置し、大崎市民の多大なご協力をいただきながら、ボランティアセンター活動を展開した。

- ・ボランティア受付人数 2,216人
- ・依頼受付件数 534件

(2) 「大崎市ボランティアセンターだより」の発行

...「大崎市社協だより」と併用し 年2回

(3) 災害ボランティアセンター設置準備事業〔本所・各支所〕

大規模災害に備えて、大崎市社協として災害ボランティアセンター（各支所サブセンター）を設置するための体制整備や諸準備を進めた。

2) ボランティア活動推進事業

- (1) ボランティア保険加入事業〔各支所〕 …年間79件
個人・団体のボランティア活動保険の加入手続きの窓口として実施した。
- (2) ボランティア交流事業〔古川・松山・鹿島台・田尻〕…年間5回 639人参加
ボランティア団体同士の情報交換・交流を図れるよう実施した。
- (3) ボランティア団体活動支援事業〔各支所〕 …年間32件
ボランティア連絡協議会・友の会等への活動助成や各種支援を実施した。
- (4) 災害ボランティアセンター体制整備研修〔各支所〕 …年間 9回
大規模災害に備えた地域住民と社協、関係機関等との連携を図りながら、知識や技術の習得を目的に災害ボランティアの研修会を開催した。
- (5) ボランティアまつり事業〔田尻〕 …年間 1回 延べ261人参加
ボランティアと住民の交流を目的としたボランティアまつりを開催し、活動紹介や福祉バザーなど実施した。
- (6) 福祉レクリエーション講座〔岩出山〕 …年間 1回 延べ 28人参加
地域で活躍するボランティアを対象にしたレクリエーション講座を開催した。

3) 福祉教育・福祉人材養成事業

- (1) ホームヘルパー2級課程養成講座〔古川〕 …年間 1回開催 36人受講
大崎市における福祉マンパワーの確保と、専門的福祉人材の養成を目的として養成講座を開催した。
- (2) ボランティア養成講座〔田尻〕 …年間 1回開催 14人受講
地域の特色を活かしたボランティアの養成と専門ボランティアの育成を行った。
- (3) 福祉体験学習支援事業〔各支所〕 …年間19回開催 延べ878人
学校や市民を対象とした福祉体験学習の支援。主にキャップハンディ体験の指導や各種福祉学習の諸準備支援を行った。
- (4) 福祉ボランティア活動協力校指定事業〔各支所〕 … 42校指定
大崎市内の小・中学校を対象に、福祉ボランティア協力校として指定し、学校内外での福祉活動の推進に対し助成を行った。
- (5) 福祉作文・ポスター・標語コンクール事業〔本所・各支所〕
…年間1回開催 708点応募
大崎市内の小・中学校の児童・生徒を対象とした、福祉の心を育てる一環として福祉作文・ポスター・標語を募集し、大崎市社協表彰式にて最優秀作品の発表、表彰を行った。
- (6) サマーチャレンジボランティア事業〔本所・各支所〕…年間1回開催 78人参加
大崎市内の小・中学生を対象に、福祉体験学習を実施し福祉の知識向上や仲間づくりを目的に開催した。

5 . 老人福祉活動推進事業

大崎市の高齢者の介護予防をはじめ生涯学習や仲間づくりの施設として大崎市古川老人福祉センターの運営に努め、利用者のニーズに応えられる事業体制の強化、地域に密着した福祉サービスを提供できるよう努めた。

(1) 大崎市古川老人福祉センター管理・運営事業 (指定管理者) [本所]

- ・マイクロバス「おおぞら」管理・運行業務

…年間 211 回運行 延べ 3,688 人利用

老人福祉センター教養講座利用者等の送迎を行った。

- ・教養講座「趣味の講座」 …年間延べ 705 回開催 延べ 15,355 人受講
高齢者を対象に、趣味活動を通じての仲間づくりや生きがいづくりを目的として様々な分野の教室を設け教養講座を開催した。

- ・敬老者マッサージ事業 …年間 1 回開催 延べ 29 人利用
「敬老の日」にちなみ、県針灸・マッサージ指圧師会大崎支会の協力を得て、無料マッサージサービスを提供した。

- ・入浴サービス事業 …年間延べ 240 日 延べ 4,561 人利用
古川老人福祉センター内の浴室にて入浴サービスを提供した。

- ・機能回復訓練事業 …年間延べ 240 日 延べ 3,957 人利用
疾病や負傷等により、身体機能が低下している在宅の療養者に対し、機能回復訓練を実施した。

- ・介護予防「生き生きシリーズ」 …年間 1 回開催 延べ 170 人受講
介護予防を目的とし、健康を損なわず元気に生活できるよう、体力・能力等に合わせた講座を開催した。

(2) ひとり暮らし高齢者安否確認事業 [古川・三本木・鹿島台・田尻]

…年間延べ 190 回開催 延べ 2,892 件

65 歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、ひとり暮らし宅への訪問、絵手紙などを通じ安否確認を行った。一部モデル地域において安心カードによる安否確認活動を展開した。

(3) ひとり暮らし高齢者つどい事業 (安否確認) [松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻]

…年間延べ 32 回開催 延べ 1,182 人参加

ひとり暮らし高齢者を対象に、安否確認を兼ねての会食会や親睦旅行等を実施した。

(4) 老人クラブ活動支援事業 [古川・松山・鹿島台・鳴子・田尻] …年間延べ 27 回

各地域の老人クラブ連合会への助成と活動支援を行った。

(5) 金婚祝賀会事業 [三本木・岩出山・鳴子] …年間 3 回 121 人参加

結婚 50 年を迎えられた夫婦を対象に祝賀会を実施。また、三本木支所においては、三世代夫婦を祝う会を同時に実施した。

(6) 友愛訪問型配食事業 [岩出山・田尻] …年間 28 回開催 延べ 675 人配達

食生活の改善と安否確認を目的として、昼食、夕食、おせち料理などの配食サービスを実施した。

(7) 寝たきり・認知症高齢者見舞品贈呈事業〔鹿島台・田尻〕

…年間 2回実施 延べ 290件

在宅で寝たきりや認知症の高齢者宅を訪問し、見舞品を贈呈した。

(8) 世代間交流事業〔古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕

…年間13回実施 延べ 1,553人参加

高齢者、障害(児)者、子ども等、レクリエーション活動を通じての交流ふれあい事業を実施した。

(9) 介護機器等の貸出事業〔古川・松山・鹿島台・岩出山〕 …延べ 143回貸出

在宅高齢者に必要な介護用ベッドや車椅子、エアーマット等の介護保険適用外の貸出を実施した。

(10) 100歳敬老事業〔各支所〕 …年間 30人

100歳を迎えられた高齢者の方へ花束の贈呈を行った。

6. 児童・青少年福祉事業

大崎市内の次世代を担う子供たちが「人と人とのふれあい」や「思いやり」を大切にできるよう、地域ぐるみで児童・青少年の健全育成に努めた。

(1) 交通・海難・労災遺児支援事業(宮城県社協事業)〔古川〕 …年間4件

交通・海難・労災により親を亡くした児童・生徒への助成を行った。

(2) 児童福祉支援事業〔松山・鹿島台・田尻〕 …年間7回実施

童話集の贈呈や子ども会ふれあい事業等への支援に努めた。

(3) 更正保護女性会活動支援事業〔古川・鹿島台・鳴子〕 …年間4回実施

更生保護女性会等への助成と活動支援を行った。

7. 障害(児)者福祉事業

障害(児)者に対して、住み慣れた地域の一員として日常生活が営めることを基本に自立と平等を目指して事業の推進に努めた。

(1) 知的障害者通所授産施設「あしたの広場」の運営〔古川〕

…年間235日 延べ4,700人利用

(2) 知的障害者通所援護施設「ふれあい広場」の運営〔古川〕

…年間235日 延べ3,995人利用

(3) 精神障害者通所小規模作業所「ひだまり」の運営〔古川〕

…年間235日 延べ4,465人利用

知的障害者、精神障害者の方が住み慣れた地域で、その人らしい生活実現に向けて、各種生産活動及び生活指導や自立生活の促進に努めた。

(4) 障害(児)者交流事業〔各支所〕 …年間8回開催 延べ774人参加

障害者のつどいや身体障害者スポーツ大会を実施し交流を図った。

- (5) 障害者団体活動支援事業〔各支所〕 ……年間 11 件実施
各障害者団体への助成と活動支援を行った。
- (6) 大崎市障害者ふれあいレクリエーション大会開催支援〔本所・各支所〕
大崎市身体障害者福祉協会主催による障害者スポーツ大会が開催され、大崎市社協
本所・支所職員・ボランティアによる協力・支援を行った。

8 . 母子・父子福祉事業

母子・父子家庭の子供たちが個性豊かにたくましく育っていくため、各種団体と協力し
母子・父子家庭の支援を努めました。

- (1) 母子・父子家庭支援、母子福祉会活動支援事業〔各支所〕……年間 8 回実施
母子福祉会等への助成と活動支援を行った。

9 . 生活援助事業

厳しい経済・雇用環境の中で、福祉制度としての様々なニーズの援助が必要となった世帯
に支援を行うことにより、生活の安定や生活意欲の助長を図ることを目的として、各種の生
活援助事業の推進に努めた。

- (1) 生活福祉資金貸付事業【宮城県社協受託事業】〔古川・三本木・岩出山〕
……年間 18 件 5,828,349 円
- (2) 生活安定貸付事業〔各支所〕 ……年間 36 件 1,770,000 円
- (3) 愛の金庫貸付事業〔古川〕 ……年間 43 件 430,000 円
- (4) 菊地久子福祉育英奨学金給付事業〔古川〕 ……年間 0 件(平成 22 年度廃止)
低所得世帯の高校入学者を対象として奨学金を給付するものであるが、近年基金
利用希望者が皆無であったことなどを理由に、ご遺族へのご意向も含めて検討し、
特別養護老人ホーム楽々楽館建設資金の一部として活用させていただいた。
- (5) 災害見舞金支給事業【宮城県共同募金会へ申請】
〔古川・松山・鹿島台・鳴子・田尻〕
……年間 18 件 540,000 円
火災により家屋の全焼被害等があった罹災者に災害見舞金支給を行った。
- (6) 日常生活自立支援事業(まもりーぶ)【宮城県社協受託事業】〔各支所〕
……年間延べ 1,219 回利用 利用実人員 51 人
生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障害者の福祉サービス利用の援助、
日常生活費等の金銭管理、書類保管等のサービスを行った。

10 . 大崎市受託事業

大崎市からの高齢者等施策事業の受託を受け、高齢者が住み慣れた地域で、生活が継続できるよう事業の推進に努めた。

(1) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 (シルバーハウジング) [古川]

… 15 世帯対象 年間 6 , 388 回派遣

高齢者世話付住宅に居住する 60 歳以上の世帯に対して、生活援助員の派遣を実施した。

(2) 大崎市古川農村環境改善センター管理運營業務 [古川]

… 年間 794 回利用 延べ 7 , 398 人利用

(3) 地域介護予防活動支援事業「高齢者の集い事業」 [各支所]

… 年間 1 , 540 回開催 延べ 24 , 049 人参加

大崎市における高齢者 (65 歳以上) を対象に、介護予防に関する知識の普及・啓発や、介護予防に役立つ自主的な地域活動の育成・支援事業等を実施した。

(4) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 [古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻]

… 年間 370 回開催 延べ 4 , 440 人参加

居宅に閉じこもりになりがちな高齢者を対象として、集い等の中で生きがいや健康づくりを目的に介護予防のための活動を実施した。

(5) 会食サービス事業 [古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻]

… 年間 174 回開催 延べ 4 , 392 人参加

65 歳以上の在宅高齢者に対し、会食のサービスを提供するとともに、食生活の向上・健康維持等について研修を行った。

(6) 高齢者配食サービス事業 [松山・鹿島台・岩出山・田尻]

… 年間延べ 584 回実施 延べ 6 , 753 人利用

高齢者のみの世帯等を対象として配食 (弁当) を行った。

(7) 家族介護教室及び家族介護者交流事業 [古川・松山・鹿島台・鳴子・田尻]

… 年間 11 回開催 延べ 197 人参加

在宅で家族の介護をしている方を対象に、研修会、慰労を兼ねたリフレッシュ事業を実施した。

(8) 軽度生活援助事業 [田尻]

… 年間延べ 45 人利用

65 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯等で、介護保険制度上自立と認定されたが、支援が必要な方に家事援助を中心に軽易な日常生活上の援助を実施した。

(9) 移動入浴車派遣事業 [古川・鹿島台・鳴子]

… 年間延べ 151 人利用

在宅において入浴することが困難な身体障害者に対し、入浴車を派遣し、入浴サービスを提供した。

(10) 移動支援事業 [古川・松山・鹿島台]

… 年間延べ 746 人利用

在宅の障害 (児) 者に対する支援として、屋外での移動に困難がある者に対して、ホームヘルパーを派遣して外出の支援を行った。

(11) 地域包括支援センター事業

地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に包括的支援事業（ 総合相談支援事業 権利擁護業務 包括的継続的ケアマネジメント支援業務）及び指定介護予防支援事業を3地域（古川・田尻・玉造）で実施した。

- ・総合相談支援事業 …年間相談件数延べ 3,934件
- ・権利擁護支援業務 …年間延べ 106件
- ・包括的継続的ケアマネジメント業務支援 …年間延べ 136件

(12) 介護予防支援事業〔古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕

…年間1,387件作成

大崎市地域包括支援センターからの委託を受けて、利用者のアセスメントや介護予防サービス計画を作成した。

平成22年度 介護保険事業・障害者自立支援事業報告について

< 介護保険事業 >

【居宅介護支援事業所】

大崎市社協全体としては、9事業所の居宅介護支援事業所があり、毎月平均1,160名程（前年平均1,110名）の要介護利用者、115名程（前年19名）の介護予防（要支援1・2）利用者となっている。前年度と比較すると要介護利用者の大きな変動はありませんが、特に介護予防利用者については、年間給付管理数1,382件（前年226件）となり、予防支援委託分が包括支援センターからの委託受け入れにより83.6%の増加となりました。

介護度割合については、介護度1の割合が29%と最も多く、次いで介護度2が22%、介護度3が15%となり、平均介護度では2.5となっております。

支所別利用割合においては、古川の4事業所で45%を占め、次いで岩出山20%、鹿島台13%となりました。

各居宅介護支援事業所のケアプランに位置づけられる、サービス毎の利用割合では、利用者のニーズによる違い、地域性や担当するケアマネジャーにもよりますが、通所介護が38%、福祉用具が26%、訪問介護が13%、短期入所が10%となっており、利用割合は前年度と大きな変動はありません。男女別利用割合では、男性が30%、女性が70%となっております。

【訪問介護事業所】

大崎市社協全体としては、6事業所の訪問介護事業所となり、毎月平均437名程（前年433名）の実人数と7,653回（前年7,950回）の延べ利用者数で、全体での一日当りの訪問件数は252件（前年261件）となっております。前年度と比較すると実人数はほぼ同数となっており、延べ人数は3.7%の減少となり、特に松山、鹿島台地域の利用者の減少が見受けられている状況です。

介護度割合については、介護度4の割合が25%と最も多く、次いで介護度1が21%、介護度5が18%となり、平均介護度では3.1となっております。

支所別利用割合においては、古川が約59%を占め、次いで岩出山が13%、松山、鹿島台、鳴子が8%となっております。

訪問介護のサービス内容は、各事業所によっては、サービス内容の違いはあるものの全体としてのサービス提供時間割合は、身体介護が45.7%、生活援助が41.6%、身体生活が12.7%となり、サービス提供の時間帯では、通常時間帯が全体の91%を占め、早朝・夜間が9%、深夜が古川で1%未満の利用となっております。

介護予防訪問介護のサービス内容は、予防（週1回利用）が31.2%、予防（週2回利用）が52.8%、予防（週3回以上利用）が16.0%となり、サービス提供時間帯についても、介護予防利用者であることから、全て通常時間帯のサービス提供でありました。男女別利用割合では、男性が27%、女性が73%となっております。

【通所介護事業所】

大崎市社協全体としては、11 事業所のデイサービス事業所があり、毎月平均 898 名程（前年 868 名）の実人数と 7,049 名程（前年 6,829 名）の延べ利用者数となっております。前年度より月平均実人数は 3.3%程増加、月平均延べ人数は 3.1%程増加しています。

介護度割合について、介護度 1 の割合が 27%と最も多く、次いで介護度 2 が 26%、介護度 3 が 14%、介護予防（要支援 1・2）が 14%の割合となり、平均介護度は 2.4 となりました。

支所別利用割合においては、古川が 5 事業所で 61.8%（前年 57%）を占め、次いで鹿島台が 2 事業所で 15%、岩出山が 11%、鳴子が 2 事業所で 12%、松山が 4%となり、男女別利用割合では男性が 26%、女性が 74%となっております。

【訪問入浴介護事業所】

大崎市社協全体としては、3 事業所の訪問入浴介護事業所があり、毎月平均 71 名程（前年 87 名）の実人数と平均 273 名程（前年 323 名）の延べ利用者数となっております。自宅での入浴介護のため、冬期間において減少傾向にある事業所もあります。前年度と比較して月平均実人数は 18.4%減少、月平均延べ人数は 15.5%程減少しており、介護事業の中において利用者数の減少が最も見受けられます。

介護度割合については、介護度 5 の割合が 41%と最も多く、次いで介護度 4 が 37%となり、平均介護度は 4.2 となりました。

支所別利用割合においては、古川が 71%を占め、次いで鹿島台が 19%、鳴子が 10%となり、男女別利用割合では男性が 38%、女性が 62%となっております。

【福祉用具貸与事業所】

大崎市社協全体としては、2 事業所の福祉用具貸与事業所があり、毎月平均 297 名程（前年 300 名）の実利用人数であり、前年度と比較するとほぼ同数となっております。

介護度割合については、介護度 4 の割合が 26%と最も多く、次いで介護度 3 が 21%、介護度 2 が 19%となり、平均介護度は 3.2 となりました。

支所別利用割合では、古川が 74%を占め、鹿島台が 26%となり、男女別利用割合では男性が 35%、女性が 65%となっております。

【短期入所生活介護事業所】

大崎市社協全体としては、2 事業所の短期入所生活介護事業所があり、毎月 226 名程（前年 214 名）の実利用人数と 1,902 名程（前年 1,836 名）の延べ利用者数となり、前年度比較で月平均実人数は 5.3%増加、月平均延べ人数は 3.5%増加しております。

1 人当たりの利用日数は、平均で古川が 8 日、鹿島台が 10 日となっており、1 日当たりの利用人数は、平均で古川が 40 名定員に対して 36.1 名程度で、鹿島台が 24 名定員に対して 26.4 名

程となっております。鹿島台については、施設入所者が入院した場合の空床利用をしているため定員以上の実績となっております。

介護度割合については、介護度 4 が 29%、介護度 3 が 22%、次いで介護度 5 が 20%となり、平均介護度は 3.3 となりました。

支所別利用割合においては、古川が 58%、鹿島台が 42%となり、男女別利用割合では、男性が 32%、女性が 68%となっております。

【介護老人福祉施設・敬風園】

敬風園については、200 名の定員で毎月平均 5,757 名程（前年 5,712 名）の延べ人数となり、新規入所者は 33 名（前年 32 名）で、退所者は 36 名（前年 32 名）となっております。新規入所者は、重介護度の利用者が多くなっている状況であり、そのため月平均 8.3 名程度（前年 7.2 名）の入院者がおります。

介護度割合については、介護度 5 の割合が 41%、次いで介護度 4 が 39%、介護度 3 が 15%となり、平均介護度は 4.1 となりました。男女別利用割合については、男性が 23%、女性が 77%となっております。

【認知症対応型共同生活介護事業所・和楽路】

認知症グループホーム和楽路は、定員 9 名で毎月平均 272 名程（前年 266 名）の延べ人数となっている。

介護度割合については、介護度 2 が 38%、次いで介護度 3 が 30%、介護度 4・5 の割合が 11%となり、平均介護度については 2.7 となりました。男女別利用割合については、男性が 25%、女性が 75%となっております。

< 障害者自立支援事業 >

【居宅介護事業所】

身体・知的・精神障害者に対する訪問介護事業で、大崎市社協全体では5事業所があり、毎月平均54名程（前年56名）の実人数と921回（前年1,091回）の延べ利用者数となっております。前年度比較で、月平均延べ人数は15.6%減少しております。

【共同生活介護（援助）事業所・ケアホーム「あじさい」】

知的障害者に対する共同生活介護（援助）事業で、大崎市社協全体としては、1事業所（8共同居住地）1居住地当たり4～12名の方が共同生活をしており、月平均実人数で48名の方が利用しております。その内3名の利用者については、就労しております。

48名の定員で毎月平均1,429名程（前年1,412名）の延べ人数となっており、入退所者はありませんでした。

【生活介護事業所】

指定生活介護事業所は鹿島台に1事業所（サテライト2ヵ所）あり、月平均43名程（前年43名）の実人数と786名（前年649名）の平均延べ利用者数となっております。また、基準該当生活介護事業所として古川（3事業所）が月平均実人数7.8名（前年7名）、月平均延べ人数53名（前年60名）となり、鳴子（1事業所）が月平均実人数2名（前年2名）、月平均延べ人数32名（前年29名）の方が利用しております。